

令和2年4月

普及活動報告

～夏野菜の生育初期管理の徹底を呼びかけ～ (亀岡市：6日)

写 真 な し

亀岡市篠町では施設トマトや漬物用ウリの栽培が盛んですが、去年は4月の遅霜によるトマトの凍霜害や定植直後のウリの虫害が目立ちました。そのため、各農家のほ場を巡回し、施設トマトでは夜間はハウスを閉め切り保温に努めるとともに、翌朝は高温になるまでにサイドを開け換気することや漬物用ウリ定植時の粒剤施用等、初期管理の徹底を呼びかけました。

場 所 亀岡市篠町

出席者数 10名

令和2年度JA京都京野菜部会篠支部：トマト生産者2名、ウリ生産者7名

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年4月

普及活動報告

～先輩農家が新規栽培者に講習～ 亀岡で「えびいも伝承塾」が開催

(亀岡市：7日)



先輩農家が作業を実演指導

亀岡では新規えびいも生産者が増えたため、栽培経験豊富なベテラン先輩農家が講師となって「えびいも伝承塾」を開催しました。

今回は、種芋の芽出しと育苗について研修しました。受講生からは「実際のやり方を教えてもらえたので、初めてでもやっていける」との感想が聞かれ、手応えがありました。普及センターは、今後も関係団体とともに必要な時期に伝承塾を開催し、産地拡大に向け支援していきます。

場 所 JA京都亀岡川東支店
出席者数 7名

JA京都亀岡支部えびいも部会 16名

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年4月

普及活動報告

～晩霜対策の徹底を呼びかけ～ 瑞穂地区で実エンドウ研修会が開催 (京丹波町：8日)



栽培管理のポイントを説明

京丹波町瑞穂地区で実エンドウ研修会が開催され、普及センターから収穫期までの栽培管理について説明しました。

今年は暖冬のため生育が早く、晩霜による凍霜害を受ける可能性が高いため、被覆資材の使用や1～2節のわき芽を5月上旬まで残すなどの対策を徹底するよう呼びかけ、ほ場で生育状況等を確認しました。

生産者同士で整枝状況や防風、収穫方法について積極的に情報交換が行われました。普及センターは5月上旬からの収穫期にかけて定期的に巡回し、実エンドウの安定生産に向け支援していきます。

場 所 京丹波町瑞穂地区
出席者数 7名



生産者同士で管理方法を確認

令和2年度 瑞穂地区の実エンドウ生産者は7名

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年4月

普及活動報告

小麦新品種「せときらら」実肥の適正量を検証～亀岡市河原林町～

(亀岡市：17日)



試験区を設け、施用量を変えて実肥を散布

小麦新品種「せときらら」の品質確保と施肥作業軽労化のため、試作肥料（基肥に施した窒素成分が穂肥の施用時期まで溶出するタイプ）の現地実証に取り組んでいます。今回、基肥で不足する窒素成分量を補うための実肥の適正量を検証するため、「(農)河原林」の協力を得て、慣行区で硫安29kg/10a、試験区で15kg/10aを施肥しました。

普及センターは今後も、子実タンパク分析等による施肥効果の確認など、良質小麦の安定生産技術の確立に向けて支援していきます。

場 所 亀岡市河原林町
出席者数 3名

令和2年度 亀岡市の小麦新品種「せときらら」栽培面積：約7ha

京都府南丹農業改良普及センター